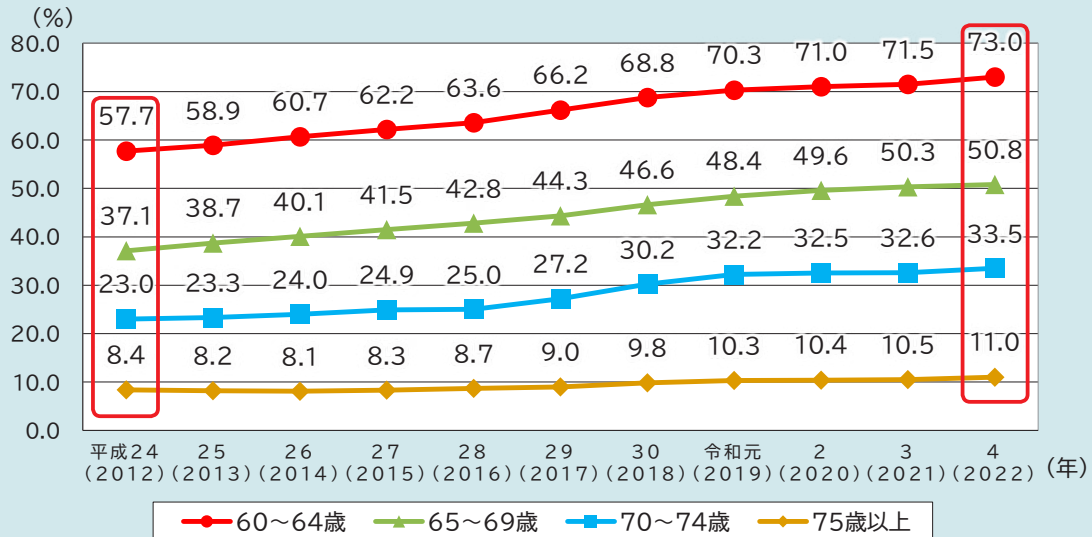


## 第2節 高齢期の暮らしの動向

### ○高齢者の就業率は上昇傾向

- ・就業率の推移を見ると、60～64歳、65～69歳、70～74歳、75歳以上では、10年前の平成24年の就業率と比較して、令和4年の就業率はそれぞれ15.3ポイント、13.7ポイント、10.5ポイント、2.6ポイント伸びている。

図1-2-1 年齢階級別就業率の推移

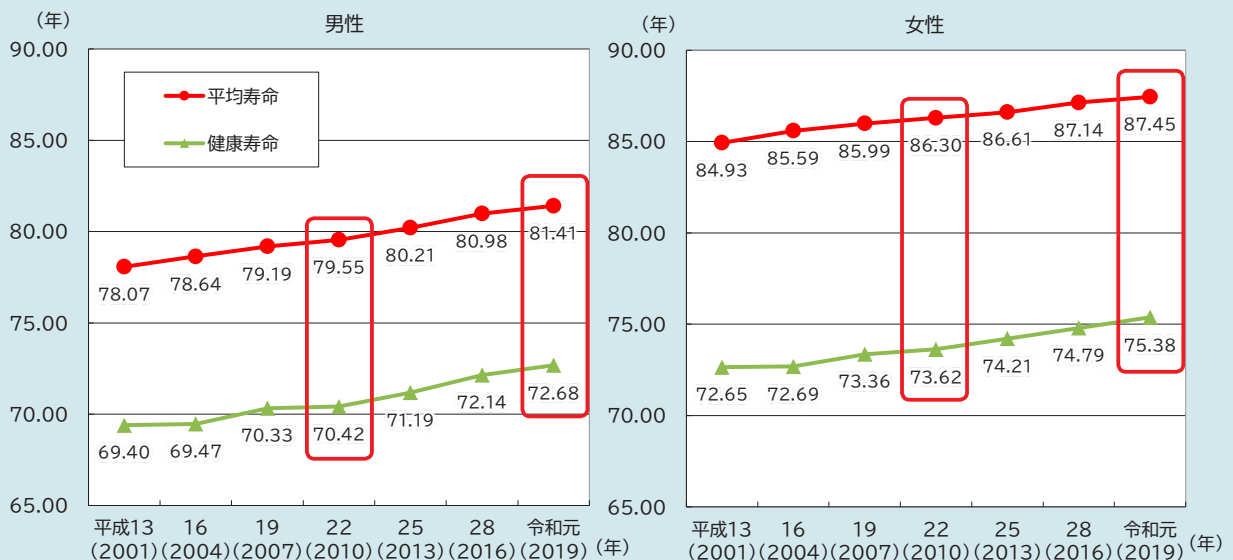


資料：総務省「労働力調査」  
 (注1) 年平均の値  
 (注2) 「就業率」とは、15歳以上人口に占める就業者の割合をいう。

### ○健康寿命は延伸し、平均寿命と比較しても伸びが大きい

- ・日常生活に制限のない期間（健康寿命）は、令和元年時点で男性が72.68年、女性が75.38年となっており、それぞれ平成22年と比べて伸びている（平成22年→令和元年：男性2.26年、女性1.76年）。さらに、同期間における健康寿命の伸びは、平均寿命の伸び（平成22年→令和元年：男性1.86年、女性1.15年）を上回っている。

図1-2-2 健康寿命と平均寿命の推移



資料：平均寿命：平成13・16・19・25・28年・令和元年は、厚生労働省「簡易生命表」、平成22年は「完全生命表」  
 健康寿命：厚生労働省「第16回健康日本21（第二次）推進専門委員会資料」